

議員氏名：渡辺 訓任

議案番号：陳情第7号

案 件 名：子どもたちに豊かな学びを保障するために、教職員定数改善と教育予算の増額、義務教育費国庫負担制度の堅持・拡充を求める陳情

討論内容：

私は陳情7号について委員長報告に賛成、採択の立場で討論します。

地方自治体の財政状況に左右されずに、教職員を安定的に確保し、全国的な教育条件や水準維持を目指して、義務教育費国庫負担制度が設置されています。

しかし、いわゆる政府の三位一体改革により、2006年度から国の負担が2分の1から3分の1負担に変わりました。これを元の2分の1に戻せば、その分を支援員配置などに回すことなど、様々な施策も可能になると考えます。

もともと自治体間の格差があり、陳情者の指摘するように、財政基盤も自治体によって状況が異なるため、独自の施策を進められる自治体ばかりとは限りません。生まれたところによって、最初から教育条件に格差がある状況は許し難いと思います。

国はようやく小中学校で35人学級を進めるようになりました。しかし、文教予算で見ると、今年度当初予算では、昨年度に比べて9%増額するものの、名目GDPと比べたところでは、15年前の0.9%から0.7%へと、むしろ減っています。乗ずる数も、1993年から33年間も見直されていないという状況で、いかに教育に対して国のほうが熱心でない、本気で取り組んでいないかということを感じるわけであります。

私は社会のゆがみが不登校や青少年の自殺の増加などにつながっているのではないかと考えています。学校こそが子どもたちにとって安心できる場であってほしいと願っています。

先生を増やしてほしい、少人数学級を実現してほしいという陳情者の願いは、多くの保護者の方々の願いでもあると考え、実現されるべきです。

このことを訴えまして、討論いたします。